



区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	
適切な支援の提供（続き）	4	○			毎日のミーティングで、利用者の体調や気持ちを考慮し、実施可能かどうか判断しながら行っている	83%	0%	0%	0%	計画実施を優先させるのではなく、利用者の体調や気持ちを考慮し、実施可能かどうか常に考えながら計画実施している
	5									
	6	○			季節にあった活動を、利用者個人の身体・知的能力に合わせ、興味もてるプログラムを実施している	83%	0%	0%	0%	利用者が飽きずに興味のある活動プログラムを提供している
	7									
	8									
	9									
	10									
	11									
関係機関との連携	1									
	2	○			重症心身障害児(者)は、地域の医療・教育などの関係機関の支援を受けており、家族を通して関係機関との情報を得ており、必要に応じて支援を行っている					関係機関との連携をもとに、必要時支援を行っている

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標		
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見	
関係機関との連携 (続き)	3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備		○		重症心身障害児(者)の中には発作時の状況により、緊急に医療機関の受診が必要な場合がある。家族と情報共有し、必要時は、医療機関を受診できるよう支援する体制をとっている						今まで緊急で医療機関受診を支援したことはないが、必要時、受診できるよう職員間で情報共有している	
	4 児童発達支援事業所及び放課後等デイサービス事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有											
	5 他の障害福祉サービス事業所等への円滑な移行支援のため、それまでの支援内容等についての十分な情報提供											
	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進											
	7 児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障がいのない子どもと活動する機会の提供		○			直接的ではないが、施設外レクリエーションで知り合い、一緒に遊具等で遊んだことがあるが、感染症拡大時は、施設外レクリエーションはほとんど出来ていなかった	17%	0%	17%	50%		利用者の体調、保護者と利用者のニーズに基づき、可能であれば交流できるレクリエーションの場を設けていく
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営											
保護者への説明責任・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明		○		説明した後も、必要に応じて再度、説明を行っている	83%	0%	0%	0%		丁寧な対応に努めている	
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明		○		毎月、翌月の放課後等デイサービス計画表を手渡し、興味がある計画に参加してもらうよう呼びかけている	67%	0%	17%	0%		今後もご家族とニーズを共有しながら対応できるよう心掛ける	
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施		○			利用者に対応する親へのトレーニングは出来ていないが、利用者への正しい対応を心がけている	17%	17%	0%	50%		今後、ペアレント・トレーニングに関する知識を増やしていきたい

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	
保護者への説明責任・連携支援（続き）	4	○			利用者の施設での様子は、毎回家族に口頭及びノートでお知らせし、発達状況や課題についても、その都度、情報交換をしている	67%	0%	0%	17%	送迎時などに、保護者と課題・ニーズについて共通理解できるよう努めている
	5		○		1～7年と長期に利用している利用者が多く、新たな子育ての悩みの相談を受けることはほとんどない。手術による環境変化などについては相談に応じている	67%	17%	0%	0%	保護者と話し合う機会をもち、悩み事があれば、解決できるよう努力していく
	6			○	利用者同士が同じ学校の保護者は、情報交換の場が持たれている場合が多い	0%	17%	17%	50%	保護者同士で交流の場がもてるよう支援していく
	7	○			保護者からの苦情に対して、状況を確認し、迅速に対応している	50%	0%	0%	33%	利用者の保護者から苦情があった場合、丁寧に迅速に対応している
	8	○			分かりやすい言葉や単語で伝えたり、絵や指を使用して選択してもらい意思疎通を図っている	83%	0%	0%	0%	利用者の特性に応じた方法で意思を確認し、伝達するよう工夫している
	9	○			毎月、もしくは定期的に様々な形で発信している	67%	17%	0%	0%	情報発信の方法・回数を見直していく
	10	○			外部に個人情報をもらさず、利用者・保護者が安心して利用できるように配慮している	83%	0%	0%	0%	今後も個人情報の取り扱いに十分注意していく
非常時等の対応	1		○		緊急時対応・防犯・感染症対応マニュアルはあるが、職員・保護者へ周知徹底が十分にされていないため、再度周知していく	50%	17%	0%	17%	緊急時対応・防犯・感染症対応マニュアルを職員・保護者へ周知徹底する
	2	○			施設全体で定期的に、火災・地震などを想定し、避難訓練を行っており、その都度、問題点、課題を話し合っている	50%	0%	0%	33%	今後も、避難訓練に継続して参加し、危険予知能力を高める

